

～未来の行仁小学校を創るワークショップ～

みんなで考えよう！  
わくわくする行仁小学校！！

★ 各グループの成果 ★

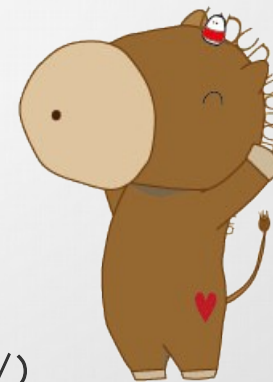
会津若松市役所 企画調整課

TEL39-1201 / Fax39-1400

メール [kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp](mailto:kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)

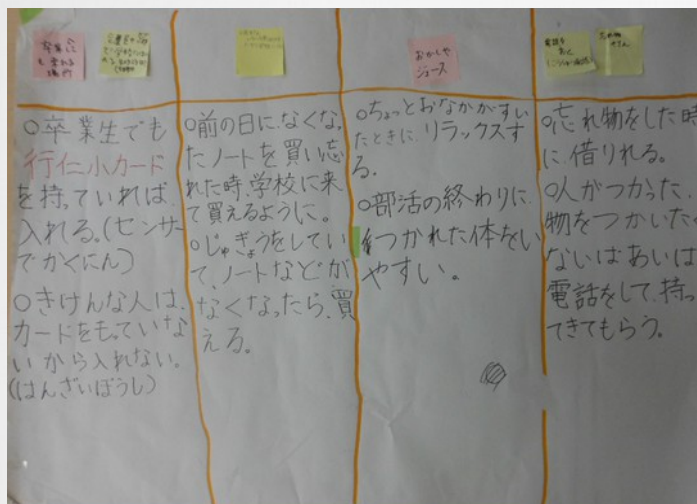
※この成果報告書は、市のウェブサイトにも掲載しています。

◆ アドレス (<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2015071000024/>)



# ●Aグループ:昇降口(忘れ物屋)

## 第1回の成果



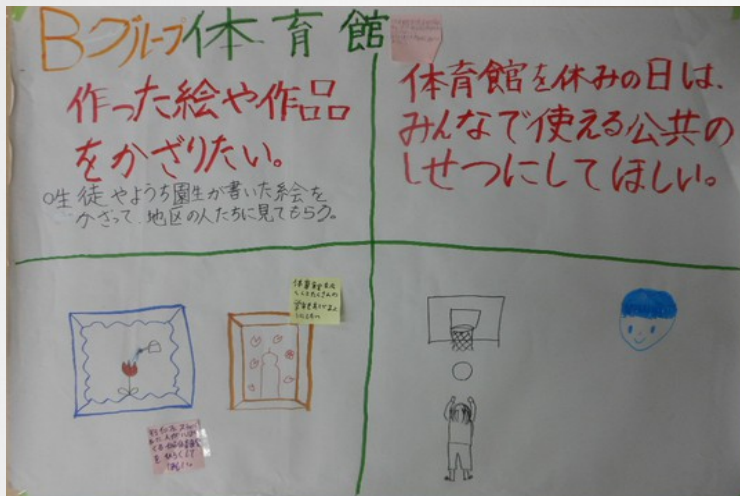
## 第2回の成果



- ・ 忘れ物屋をつくり、忘れ物をしてでも借りられるようにする。
- ・ 忘れ物屋には電話があり、親に持ってきてもらうこともできる。
- ・ 文房具やお菓子を売っているお店もあり文房具を買ったりお菓子で疲れをいやすことができる。
- ・ お店は地域の人も利用できるもので、地域活性化につながる！

## ●Bグループ:体育館

### 第1回の成果



### 第2回の成果



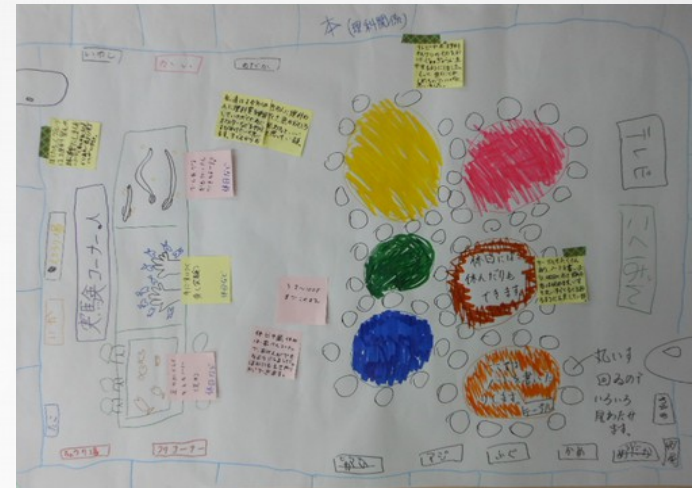
- ・ 幼稚園児や小学生などの絵を展示し、お年寄りやカップルなど誰でも観ることができる。
- ・ 祝日はライブハウスとして使い、校長先生がきゃりーぱみゅぱみゅやお笑い芸人など芸能人を呼んでくれる。
- ・ 自由に汚せるスペースがあり、絵を描いたり作品を作ったりできる。
- ・ 地域の人も体操をしたり、スポーツをしたりと自由に利用できる。

## ●Cグループ:理科室

### 第1回の成果



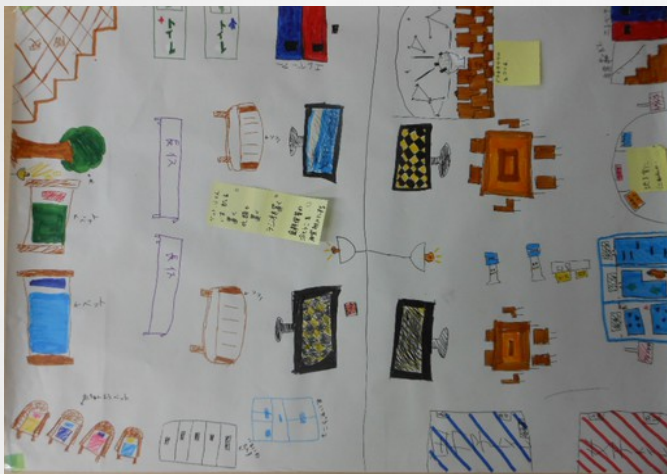
### 第2回の成果



- ・ 壁が水槽になっており、イスもくるくる回るので水族館のように楽しめる。
- ・ サメや電気ウナギ、ドクターフィッシュなどの水槽があり、ふれあいもできる。
- ・ 休日は大人もいっしょにエサやりや実験が楽しめる。
- ・ 理科の楽しさ、魚の楽しさを大人も子どももみんなが学ぶことができる！

## ●Dグループ:地下室

### 第1回の成果



### 第2回の成果



- 避難所として使う。
- すべり台、登り棒、スロープといった様々な入り口から入れる。
- 点字ブロックなどもあり、ユニバーサルデザインになっている。
- 非常食、赤ちゃん用ベッド、ふとん、テレビやラジオなどがある。
- 暖房付きの床でプラネタリウムが楽しめるので、平常時も住民の交流の場として使える。

# ●Eグループ:プール

## 第1回の成果



## 第2回の成果



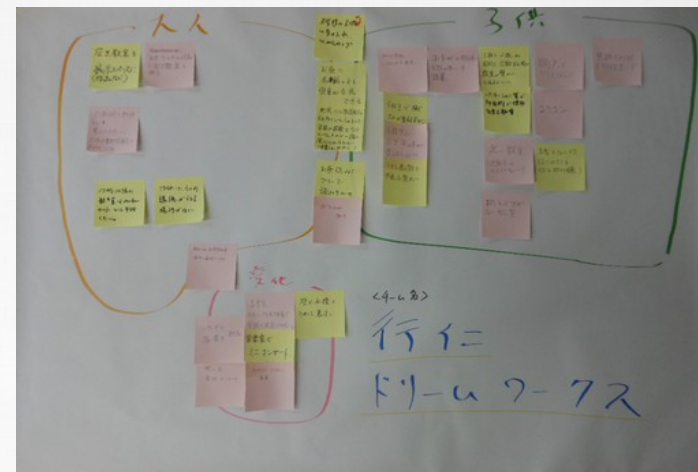
- ・ プールは民間のスイミングスクールを利用する。
- ・ プールの水は火災の際に使用しても10分程度で尽きてしまうため、防災面でも不要と判断した。
- ・ インストラクターに教えてもらうことで 泳力が向上する。
- ・ 民間プールは通年使えるため、授業もやりやすくなる。
- ・ プールの分の敷地を、他の教室などの敷地として有効活用する。

# ●Fグループ:教室

## 第1回の成果



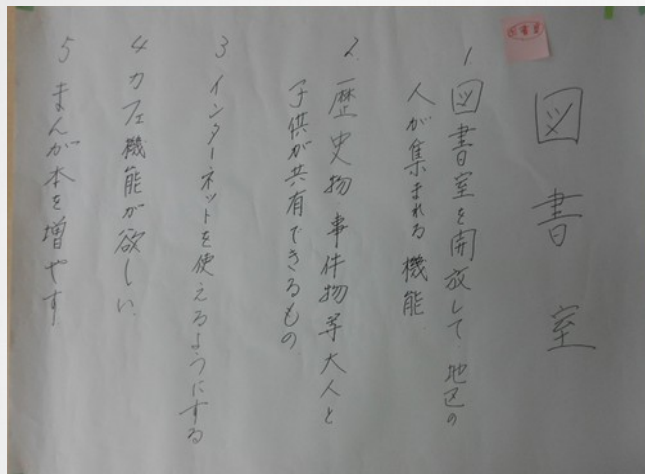
## 第2回の成果



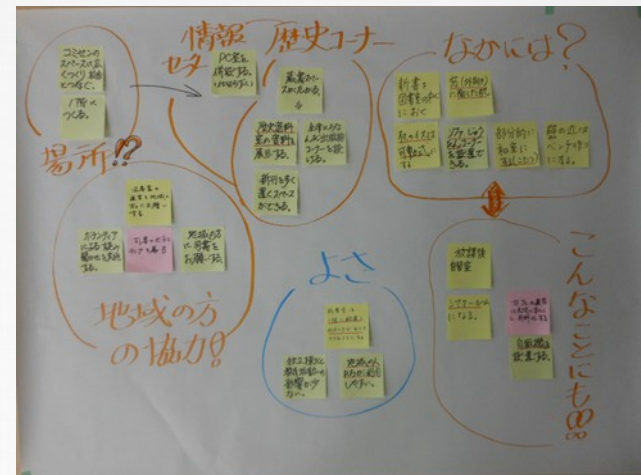
- ・ 自由な教室の使い方として検討した。
- ・ イスや机が自由に動かせる、壁がホワイトボードになっている、など自由度を高くし、様々な使い方ができるようにする。
- ・ 不登校の児童でも通える居場所をつくる。
- ・ 授業で使わない時間を地域住民に有料で貸出すなどし、地区の住民の交流を促すことで地域が活性化していく教室になる。

# ●Gグループ:図書室

## 第1回の成果



## 第2回の成果

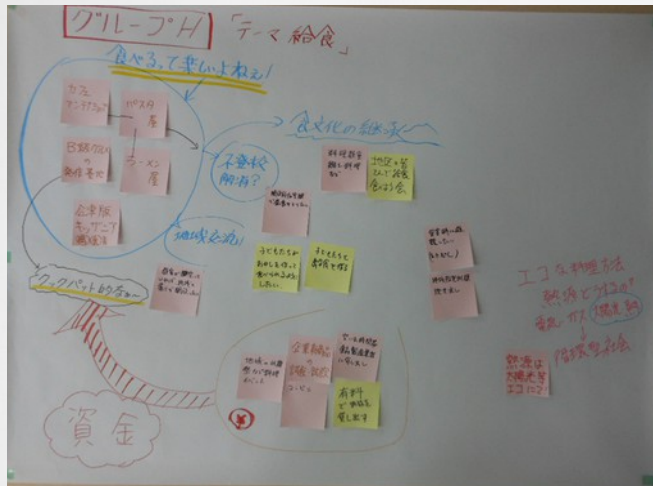


- ・ 地域の情報センターとして位置付ける。(PC設置、郷土資料の展示など)
- ・ 窓向きに机を配置し集中して勉強できる環境を作る。
- ・ ソファやこたつ、飲料販売など、様々な年代の方がくつろげる空間を作る。
- ・ シアタールームがあり、地域の方とワールドカップ観戦などを行う。



# ●Hグループ:給食室

## 第1回の成果



## 第2回の成果



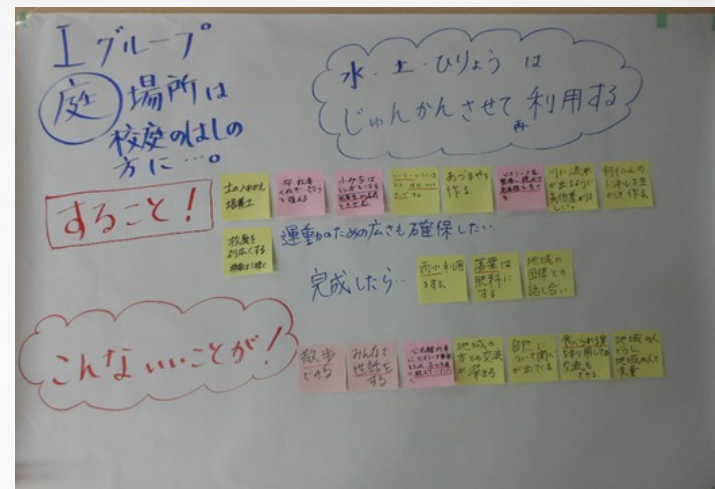
- ・フロアを広くし、休日は大人もレストランとして利用できるようにする。
- ・セキュリティ対策として休日専用の出入口をつくる。
- ・児童がレシピを考案する、大人と食事を楽しむなどを通じて食育を推進する。

# ●1グループ:庭(校庭)

## 第1回の成果



## 第2回の成果



- ・ 土を入換えたり、実のなる木を植える。
- ・ 夜も入れるよう、ライトアップする。
- ・ ビオトープをつくり、絶滅危惧種を育成する。
- ・ 水や土を循環させ、たい肥などを地域の人といっしょにつくり、手入れをすることで児童と住民との交流や学びが生まれる。

## ★おわりに ～わたしたちの成果はどうなるの?～

ワークショップに参加していただいた皆様、本当にありがとうございました！

このワークショップで出たアイデアや考え方は、今後の行仁小学校の改築の参考にしていきます！

これから、新しい施設の整備に向け、本格的に検討を進めていきます。

また、検討の途中には、今回のような児童や地域の皆様からアイデア・意見をいただく場を設けていきたいと考えています。その際には、また、ぜひご参加ください。

取組はまだ始まったばかりです！地域に愛される、わくわくするような施設が作れるよう、これからもみんなで考えていきましょう！！

